



市の人口

(10月1日現在)

男 24,724人
女 25,332人
計 50,056人
14,637世帯



石岡の民家 ③⑥ 羽成とみ宅 (高浜)

おまつり座談会

より良いお祭りを目指して

石岡のお祭りが終わって、早一カ月。最終日に少し雨が降った程度で、今年のお祭りは全般的に天候に恵まれていました。秋空の下、子供や若者たちがあふれんばかりに街並をうずめ、例年以上の盛り上がり。年番・青木町の若者が担ぐ神輿と山車十二台、獅子二十八台、子供神輿の計四十二台という空前の数の出しものが、市の中に練り出しました。

しかし市を挙げてのお祭りも、近年になって伝統の喪失・モラルの乱れ・青少年の非行などを嘆く声が高まっています。今回は、「より良いお祭りを考える」と題し、私たちが目指さなくてはならない本来のお祭りの姿を、石岡市をこよなく愛する四人の市民の方に語っていただきました。

■出席者プロフィール

●木村竹次 67 国府2丁目

市お祭り研究会常務理事・石岡ライオンズC・PR情報委員長

お祭りは子供のときから金丸町に参加、今日に至る。日本の祭り民俗に対する造詣も深く、古き良き伝統の喪失を嘆く一人。

●鈴木きよ 50 鹿の子2丁目

朗読ボランティアひびきの会で昭和五十七年から盲人向けの市の市報づくりを続けている。かつて祭りに熱中していた娘さんがいたことから、青少年の健全育成に深い関心を寄せている。

●館野康一 31 府中2丁目

青木町の青年会に所属。若者で構成する石祭連合会では、お祭りの早期街路清掃など献身的努力を続ける。「お祭りは子供が主役、楽しく参加できるような大人」の努力が必要と主張している。

●仁平克幸 24 貝地2丁目

茨城新聞社整理部勤務。早大のとき、中・高校生の異常なフイバーに驚き「祭り参加者の意識改革を望む」の一文をいはいはらき新聞に寄稿。若者はもつと祭りを認識すべきと考えている。



お祭り座談会の出席者は、左から仁平克幸さん・館野康一さん・鈴木きよさん・木村竹次さんの四名です。



▲年々盛大になる石岡のお祭り。今年は山車12台、獅子28台という空前の数の出しものが街を練り歩きました。

お祭りの原点はどこへ行ったのか

鈴木 今年のお祭りは、仁平さんはご覧になっていかがでした。

仁平 今年も三日間、一日二時間ぐらいですが一通り歩きました。昨年と比べて、特に変わった点はないんじゃないかと思っています。

鈴木 木村さんはお祭りを長くご覧になっていて、今のお祭りをどう感じられますか？

木村 私は金丸通りで商売をやっているもんですから、店の前を通る状態を見ています。仁平さんとは見る場所も見る角度も違いますが、まず仁平さんの考えているとおり、このままではお祭りは間違った方向へ行ってしまっている。どうしたら良いのかな、と思いました。

鈴木 いかがですか、館野さんは？

館野 そうですね。もちろん見る人あつてのお祭りですが、見る人の立場とやっている人間の立場は全く違います。私も数年前までは「ああ、このままではダメになる」との気持ちがありました。しかし、青木町に参加している三百人ほどの中・高校生が、ここ三年で少しずつ変わってきたんです。三年前には、神様も祭礼も関係なく騒いでいた集団だったのですが、少しずつ良くなってきました。

鈴木 見ていると、色々な名前を染め抜いたハンテンを着ている若者のグループがいますね。あの若者たちは勝手にグループを作っているのですか？

館野 彼らにとって、一つの遊びがたまにまたお祭りであるという面があると思うんです。グループは自由に作りますが、町内に出ていいですかという許可は一応もらっているはずなんです。

鈴木 今年もお酒を飲んだりタバコを吸っている子供がいたと聞きました。ああいうのは、町内の責任者が注意しないのですか？

館野 もちろんお酒のラッパ飲みなどに対しては、厳しい注意がありました。未成年の飲酒・喫煙はどの町内でも禁じています。

鈴木 多彩なハンテンを見かけましたが、木村さん、昔と比べて今

のお祭りの服装はどう変わっていますか？

木村 十五日の中日に、京都から山鉾連合会の会長さんたち十名が石岡のお祭りに見に来てくれました。京都の祇園祭の場合は、夏なので服装は麻を着るぐらい。石岡の場合は大半が木綿です。私が見たり聞いたり、古い写真で調べたかつての服装に比べると、今の支度ぐらいのボロなものはありません。毎年五月に行われる東京の浅草三社祭りの影響が多分にあります。

山鉾連合会の方たちは、全国の大きな祭りは見て歩いているのですが、女性のモヒキ・腹掛け・ハンテン姿を見たのは石岡が初めてです。——三社は見ていなかったのでしょうか？

でも、ああいう支度が良いのかどうか分かりませんが、昔はもう少しお金をかけて、いせで粋だったものです。チリメンなどは皆さん使っていました。今の人の感覚が違っているのでしょうか？

現在ほとんどが既製品。昔は親が全部縫ったんです、ハンテンでも何でも。服装そのものは、今のほうが簡単でお粗末ですね。

三社祭りでは、富出しの花棒取りとかいってケンカして騒いで、機動隊が出動しているところをテレビがよく映していますね。あれ、本来はあんなことばかりじゃないんです。もっと古式にのっとって今でもやっています。派手な部分を取り上げるので、どうしてもそれが良いとされて皆がまねをするのでしよう。

石岡で神輿を担ぐとき、ソイヤ、ソイヤの音が半分で「ワッショイ」が半分のようでした。館野さん、神輿はワッショイと担ぐものでしょう。

館野 そうですね。輪で一緒と書くのですから、石岡はワッショイのはずです。



▲9月14日の午後2時過ぎ、総社宮から供奉(ぐぶ)行列が出て来ました。先頭は露払いの土橋の獅子。両側にホ口持ちの子供がつく伝統の舞が見事です。

木村 東京だつてソイヤの掛け声はないそうです。亡くなった慶応大学の池田三郎教授が、さかんに書いていました。ソイヤという掛け声はないとね。やっぱり昔はワッショイだそうなんです。

館野 東京の深川では、五・六年前にソイヤからワッショイに戻したそうです。ソイヤは寄り添えやの意味だとの説もあるのですが、

(次ページに続く)



▲昭和62年の年番を務めた青木町の面々が勢ぞろい。明治35年に確立された年番制度は現在15町内によって引き継がれ、来年は幸町が年番町となります。(写真提供：馬立孝男さん)。

木村 こじつけでしょうね。昔のどんな本を読んでもワッショイしか出てません。掛け声一つとってもそんな風ですから、石岡の山車でも獅子でも服装でも、昔とは違ってしまいました。

昔の子は腰にドウランを下げて鼻に白粉を塗ってましたよね。

鈴木 今は中・高校生の女の子が、市内だけでなく周囲の町から大勢参加しています。既成のハンテンだから気軽に参加できるのかも知れませんね。

木村 本来祭りは、町内の氏子の人たちがやるもので、なぜよそから人を頼んでやらなければならないのか、私は疑問に思います。かつては、お祭りに手がなくてやれなかつたら催物は出しませんでした。財政的に苦しい休むということでした。

館野 私が子供のころ、青木町が出ない年もありました。二年休んだとか……

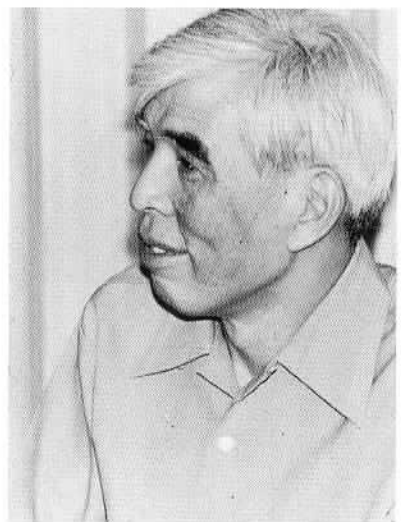
木村 今年は山車が十二台、獅子が二十八台。

昔は山車が四台出て獅子が八つぐらい出れば、大きなお祭りでした。休んだ町内がいっぱいあるんです。年番の前の年は休んで力を蓄え、予算面でも我慢してたんです。

今は、色々な面で恵まれてます。

仁平 私はお祭りを生かして、中・高校生の女の子の騒ぎが何かおかしいと感じました。町内だけでなく土浦・美野里・八郷など近隣からの参加があることはすごく良いことですが、何でお祭りをやるのかという根本的な認識が不足しているように思います。

あれだけの若い人間の結束力とかエネルギーは、すばらしいものです。だから、日常にもその力を活かして欲しいと思います。



▲「石岡の祭りは誰もが参加できる楽しい祭りです」と木村竹次さん。

子供もお年寄りも参加する楽しいお祭り

木村 京都の人たちが、お祭りを生かして大感動心していた点があります。京都の祭りというのは選ばれた人だけでやります。供奉の人、おはやしの人、車を動かす人と役割が決まっています。勝手なことは誰もできません。綱を引くのはアルバイト。

で、そういうお祭りの責任者の人が来て「祭りって、こういう祭りいいですね」と言うんです。子供からお年寄りまで全部が楽しそうに参加していて、本当にすばらしいというわけです。

やっぱり実際に好き放題やっているのは一握りの人間です。よそから来る参加者には、町内の守るべきことだけは守ってもらい、それができれば町内だけでやるべきです。そうすれば、町内のハンテンで統一できます。

めいめいのハンテンを着て、好きなことをやるのがいいんだということになる、とにかく祭りはダメになります。

富田町にしても土橋町にしても、昔ながらの伝統を守ってやってきていますよね。やればできるんじゃないでしょうか。

遠いところから、たくさんお客さんが来るようになりました。今年もライオンズクラブで「石岡のお祭り」というパンフレットを配りました。持ち帰った人には住所・氏名を書いてもらいましたが、それを見ると県外からも相当来ています。そういう人たちに「ああ、石岡のお祭りはすばらしい」と思ってもらって帰って欲しいものです。

やはり良いことよりも悪いことが目立ちます。お客さんは三日間いるわけでもないし、奉納相撲や総社宮での儀式などのPRもされていません。たまたま若い人がイラストのガイドマップを配ったりしましたが、行政も別にそんなPRをやりません。

鈴木 去年、相模原市から見た女性、こんなすばらしい誰も参加できるお祭りならもっと広くPRすべきと、すごく良い印象で帰られたそうです。

ところで、お祭りはそもそもいつごろから行われたのでしょうか？

木村 市の方では三百年の歴史とPRしているのが江戸の中期からなのではないかと、総社宮に年番の記録があるのは明治二十年からです。明治三十三年に総社宮が県社に昇格し、明治三十五年八月に年番制度の改正があり、以来お祭りは十六の町内で戦争中もずっと行なってきました。で、そこでは祭典に関わった上の方の名前が分かるだけで、あとの記録は分かりません。

鈴木 十五日の日に十二座神楽と奉納相撲が行われていますが、そ

れは昔からですか？

木村 十二座神楽は昔からではありません。浦安の舞いと相撲は古い古い記録に残っています。九月九日に相撲興業をしたという古文書の記載もあります。

鈴木 館野さん、子供のころの印象と比べるといかがですか？

館野 そりゃ、もう全然違いますよ。今は参加する町内が余りにも多く、交通規制の時間にしても服装にしてもまったく違います。小さいころは、山車は決まって二つ、獅子が八つ。だから参加者みんなが総社宮へ行って、露払いの獅子やお神輿を毎年毎年見てきました。

仁平 今は小学校の授業などで、地元の歴史を学ぶ機会が少ないのではないのでしょうか。お祭りとは一体何なのかを、そこで触れてみてはいかがでしょうか。

鈴木 そういふ風に、小学校のころからお祭りが何なのか分かっていれば、ただ騒ぐだけのものではなくなるでしょうね。

よく石岡のお祭りは関東三祭りといわれ新聞にも書かれています。が、関東三祭りとはどこどこなのではないでしょうか？

木村 一応は、千葉県の佐原と府中の暗闇祭りだということですが、違うことも書いてあったときもありました。ですから、行政の方でその辺りをはっきりとさせて欲しいですね。二通りあってはまずいでしょう。ただ、どちらも認知はされているんじゃないでしょうか……

館野 私はお祭りが好きで、色々なお祭りに見に行ったり参加したりしましたが、やっぱり石岡のあの泥くさい祭りが最高ですね。

木村 そりゃそうですよ。生まれ育った所のものだから。

館野 以前、秩父の夜祭りへ行ったら、あんまり屋台がすばらしかったの、ちよっと手を掛けたら物凄く怒られました。いやあ、



▲「その原点を理解すれば、ただ騒ぐだけの祭りではなく、たんなる祭りですね」と鈴木きよさん。

これでは気を使っているかと思いましたが、木村 一つの伝統を守ってゆくには、やはりそのぐらいの気遣いが必要なんです。

山車でも獅子でも、もう少し大事にしても良いと思います。

鈴木 今年はケガをした参加者がいらつしやるんですか？

館野 今年はほとんど無事故なようですね。

きちんとしたお祭りなら問題は減る

鈴木 最後に、市の活性化にもつながるこのお祭りをさらに良いものにしていくには、どうしたらいいのか考えてみたいものです。

(次ページ上段へ続く)

市議会第3回定例会

＝24議案＝ 固定資産評価審査委員に沼田信一郎さんら6名を選任

昭和62年市議会第3回定例会が、さる9月11日から26日までの16日間、市議会において開かれました。

この定例会では、昭和61年度一般会計及び特別会計(授産所、国民健康保険、簡易水道事業、下水道事業、駐車場、老人保健、石岡駅東土地区画整理事業)の歳入歳出の決算認定や昭和62年度の一般会計補正予算など24議案が審議され原案どおり決まりました。主な内容は次のとおりです。

市営住宅の建設工事始まる

●今回建設が決まりました市営自由ヶ丘団地住宅建設工事は、中層耐火構造4階建1棟、16戸です。

- 契約金額 1億1千6百万円
- 請負業者 石岡市東石岡2-4-23 藤吉川工務店
- 工事期間 着工昭和62年9月12日～完了昭和63年3月19日

人権擁護委員に永田さんを推せん

●人権擁護委員の中で、1名が任期満了で欠員のため次の方を推せん。

永田 道春 59歳 茨城1-12-21

ヤング・インタビュー

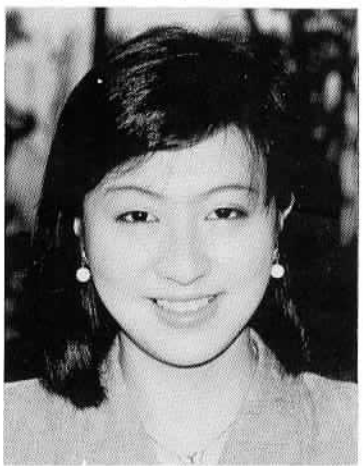
ひまわり談話室 44

●大久保友子(21) 東石岡5-1-3

今年の夏、ミス・カリブに選ばれてほとんど毎日のようにテレビ出演をしていた友子さん。今やその仕事から開放されて、これまで通り立教大学へ電車通学しています。大学では、文学部のキリスト教学科に籍を置く三年生。

——ミス・カリブの仕事はおもしろかったですか？

「テレビ番組には、三十回ぐらい出演しました。六月二十四日に選ばれて、八月三日まで仕事をしました。



朝早くテレビ朝日へ行くのはきつかったです。面が白くて勉強になりました。

色々な芸能人に会いました。中でも久米宏さんが印象的でした。背が高くてカッコイイ人ですね。待時間、お化粧室で文珍さん・三枝さんと話しましたが飛び抜けて楽しかったです。

——趣味・特技は？

「特技ではありませんが、ずっとイギリス人に英語会話を習っています」

ミニ懐石なども行きました。——石岡については？

「お祭りは大学に入ってから一度も見ていないんですよ。高校二年生まで参加してました。最近では東京の良いいところばかり見ているので、石岡については要望ばかり。買物は不便で物足りないし、ついつい池袋とか銀座へ行ってしまうんです。石岡はどうして眠っているのかなと思います」



▲お父さんが作った無線で交信をする小学2年生の岡田悟くん。将来は宇宙通信をしたいと夢いっぱいです。

最年少アマチュア無線技士 貝地一丁目の岡田悟くん

石岡ギネスブック (27)

●三素子八木空中線において給電線はどの素子につなげばよいのか？
①放射器 ②すべての素子
③導波器 ④反射器
この試験問題は、今年の七月に岡田悟くんが受験した「電話

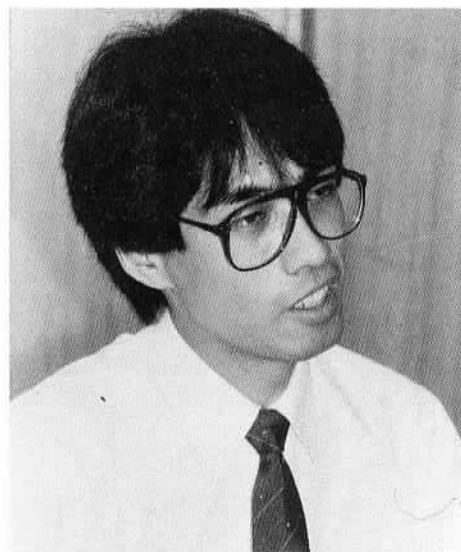
級アマチュア無線技士」の無線工学の問題です。この試験は全部で二十問出題され、六割り以上の成績でないと、アマチュア無線技士の資格はもらえません。小学二年生の悟くんは、この難関を九割り近い高得点で突破して、みごと合格しました。夏休みの二週間は、この試験に向けて特訓をしたといいます。一緒に受験して、やはり無線技士の資格を得たお母さんの千枝子さん(33)は、「問題は漢字がいくつかあるのでも、それを読めるよう教えるのに苦労しました。最年少といっても市内・県内ではそうかも知れませんが、全国を見渡せば埼玉県四歳の女の子が同じ時期に合格しています。この子なんてまだまだ」と言いながらも嬉しそう。お父さんの岡田晋さん(35)も、二年前に第2級アマチュア無線技士の資格を取ったという熱狂

木村 一番困っているのは、ちようどお祭りに参加する年齢の子供を持つ親ではないでしょうか。鈴木さんの子供さんはいかがです？
鈴木 そうですね。うちの娘は、一昨年ぐらまでお祭り気遣いのように参加していたのですが、どういいうわけか最近はお祭りに参加していません。参加しているときは、それはそれは心配で心配で家にじっと待っているんです。終わりの花火が鳴っても帰らなくて、街へ出て娘がどこにいるのか捜したこともあります。お友達のお母さんや心配で歩いていました。誰もが心配なのです。木村 親が心配している家の子供は、まだ大丈夫だと思いませんか？
この間、ある町内の獅子小屋の中をのぞいたら、三十代の女性二人が、腹掛け・モモヒキの支度でタバコを吸っていました。あれだけ子供が入っているんですよ。そうなるってると、何と言っているのか分りませんよ。
仁平 学校の先生と話したことがあるんですが、お祭り期間の見回りは、とにかく忙しくていやだといふんです。疲れのお祭りなんか早く終わった方がいいという声があるほどです。
木村 お祭りの夜に歩いていますね、補導という腕章を巻いて。大変だと思えますが、あれをするんだと、一緒に先生が参加したかどうかというので、うんと違うと思えますよ。
補導という腕章を巻いて、現実に補導できるんですか？鈴木さんはおやりのことではありませんか？
鈴木 ありますが、補導は難しいです。ただ見て歩くだけです。目に余った場合でも、この学校の子供が分りませんしね。
木村 分らない人が歩いているのは、何のために歩いているのか分らないでしょう。学校の先生も一緒になってお祭りに参加したらどんなものなのでしょう。



▲「やっぱり石岡のあの泥くさい祭りが最高ですね」と館野康一さん。

鈴木 私、お祭り終了の花火が鳴ったその後が、問題なのかなと考えるのですが。
館野 町内では、なるべく早く解散するようにしていますが、確かに彼らが問題なのは終わってからで。
仁平 お祭りの終わった十時過ぎでしょうか、駐車場の隅で何かしている女子高生や、八間道路に酔っ払って倒れている女の子を見ました。やはり終わってからが問題なのかなと思いました。
木村 終わってからだと言いますが、お祭りの最中に酒を飲んだりあんな勝手なことをやって、その後あんなのは当然でしょう。あれは、その結果がそうだったというだけの話です。もう少しきちんとお祭りをやれば、道路に酔っ払って寝るとか急性アルコール中毒で救急車のお世話になるということはなくなるでしょう。
仁平 参加する側からはちよつと離れますが、石岡の祭りの観光PRがまだ足りないのではないのでしょうか。水戸とか土浦では、うわ



▲「お祭りの観光PRがまだ足りないのではないのでしょうか」と仁平克幸さん。

さには聞いているがまだ見ていないという人が多いようです。木村 今年の調査では、お客さんは東京からが多く、次いで土浦・県南地方となっていました。残念なことに水戸・日立など県北からは非常に少ないようです。こつちが熱狂している割には、水戸から先はさほどですね。PRがあまり上手だとは思えませんね。三百年の伝統で三大祭りだと言った言われた、総社宮から露払いと神輿が出てその後が続く行列といったこれは本場にすばらしいものです。その本質がうまくPRできない。だから、皆でお祭りの目玉になることを考えて、少しでも宣伝しなければと思います。
鈴木 皆で反省し良い面を伸ばして、より良い楽しいお祭りができればと思います。本日はありがとうございました。

石岡簡易裁判所が

老人いこいの家跡へ移転しました

10月16日(3月31日)

石岡簡易裁判所は、改築工事のため府中二丁目8-25の旧・老人いこいの家を仮庁舎として移転しました。新庁舎完成まで



これぞ石岡一。コレクションや特技など身の回りの気付いたこと、自薦他薦を聞かせます。どしどし編集部にお寄せください。03-1111-1111 内線273

市長日記

九月三十日(木)

私には二人の娘がいて、長女に養子を迎えて同居している。自分の口から言うのもおかしいが、似た者夫婦で二人とも素直で優しく、そのことが何より嬉しく幸せに思っている。しかし、二人がより豊かな人間性を身につけた者として生涯成長を続けて欲しいという念願から、彼らからすれば家の中の私の存在は、うるさい親だと評価する向きが多いだろう。第三者が公平な目でこの親子を評価するならば、どんな採点がなされるか分らない。昔からよく言われる、いつまで経っても子は子、親は親、という言葉を、自分だけが涼しい顔で守っている滑稽な場面がありはしないかと、時々自分を見つめることがある。この間、私の別荘近所の友人を交えた家族の対話の中で、こんな話が出た。娘に向かって私の友人が言うには、「せつちゃんも大変だろう。何しろこの親父が家の中ではやかましいからなあ」。娘は「そうなんです。よく叱られて困っています」「そうだろうよなあ」と

友人は娘に同情的なお世辞を使った。
ごく短い対話であったが、私はすぐその話の後を追って自分の意見を述べた。
今の話について私が娘の立場で自分の考えを言うなら、こんな言い方になるだろう。
「父が長年の人生経験者として私を見たとき、まだまだ欠点だらけの娘と思うでしょう。言われるのは、みな私が未熟だからです」とこう答えたなら、友人はどんな気持ちでこの言葉を

聞いたことであろうか。出来た人間と未成熟な人間との相違はこの辺りに大切なポイントがあるのではないだろうか。
この夜の対話は、いずれも気取らない談笑に花を咲かせた。その中でも、親として言いたいお説教じみた論評を敢えて加えて話題を転じたが、奥のあるまろやかな人間性を身につけることは、生涯を通じての努力目標である。
その精進の積み重ねが、人柄の光沢となって美しくにじみ出るのではないだろうか。

★フローラルシティ南台★ ＝第2次宅地分譲開始＝ 10月31日～11月8日(正午まで)

●分譲区画 16区画
●一区画の平均価格 約1,277万円
●1㎡の平均価格 約50,093円
●一区画の平均面積 約255㎡
■申し込みは、10月31日～11月8日正午まで現地案内所で受け付けています。複数の申し込みがあった区画は、11月8日の午後1時から南小体育館で公開抽選を行います。詳しくは、現地案内所へ。
☎6-4404 (10月21日から)



A black and white line drawing of a desk. On the left is a desk lamp with a curved arm. Next to it is a stack of books. In the center is a notepad with a pen resting on it. To the right is a pen holder containing several pens and pencils. A small eraser is also on the desk.

石岡オリオンズ初優勝

バドミントン

沖縄国体に出場決定

石中出身の塚沢・鬼沢組

A black and white line drawing of three children running towards a school building. The child in the foreground is a girl with a ponytail, running quickly. Behind her are two boys, also running. The school building in the background has a chimney and a small awning over the entrance.

夏季バレーボール大会

高浜が優勝

優勝 高浜
準優勝 三友クラブ
三位 パワーズ
三位 チャレンジ

図書館

お楽しみ会

◆**針穴映像器作り**◆

八月五日・六日の両日、東地区公民館と城南地区公民館で、お楽しみ会が開かれました。今回は、小学校低学年生を対象に、「科学あそび」と題し、竹筒を使っての針穴映像器作りです。

参加した子供たちは、東地区公民館で約六十名、城南地区公民館では三十名と大盛況。講師は前関川小学校校長の軽部豊先生です。

軽部先生は、子供たちに「竹筒の切り口にラフイン紙を張

図書館
お楽しみ会
◆ 針穴映像器作り ◆
での科学あそび

今回は、小学校低学年生を対象に、「科学あそび」と題し、竹筒を使つての針穴映像器で作ります。

講師は前関川小学校校長の軽部豊先生です。

軽部先生は、子供たちに「竹筒の切り口にパラフィン紙を張

この程、市立図書館と学校図書館の職員が、埼玉県坂戸市立中央図書館を視察研修しました。これは、トップクラスの図書館の実状を見聞し、いい面を取り入れ市の図書館行政に役立たせようと、毎年実施しているものです。行の車中では、打合わせを兼ねてよりよい図書館サービスについて、活発な話し合いが行われました。

ある学校の先生からは、次のような詳しい内容の報告がありました。「学級担任をしている関係で、昨年は市立図書館から巡回配布されてきた本をもとに学級文庫を充実させたり、読み聞かせの時間を多く持つよう心掛けてきました。

子供たちは、特に読み聞かせの時間が楽しみで、話にじっと耳を傾け「先生、さし絵はどうなっているの?」次はいつ読んでもくれるの?」等々矢継ぎ早に質問が飛交います。それだけ関心が高くて、読んで聞かせた本に感動した子や関心を持った子は、以後自分の目でその本を繰返読んでいます。

担任が変わった今でも、時廊下などで会うと小脇に本を抱えていたり、職員室に来て「図書室を開けてください」と言っています。

少しは本の好きな子になってくれたかなと思いつつ、読書指導と市立図書館との連携協力の大切さが痛感しました」

府中地区公民館まつり
10/24・25

第二回府中地区公民館まつりが十月二十四日(土)・二十五日(日)の両日開かれます。

今回参加する同好会は、洋裁、ダンス、パンの花、草細工、藤手芸、英会話、石岡写真クラブ、

手編み、木彫、ヨガ、ジャズダンス、水彩画、大正琴、フラメンコ刺繍、着付け、太極拳、ミニ面作り、パッチワークなどです。その他、住宅都市整備公団でも南台団地に関する住宅相談コーナーも設けられます。

塚沢・鬼沢両選手の国体での活躍を期待します。

夏季バレーボール大会
高浜が優勝

この大会には、十六チーム・約二百名が参加し女性の熱い戦いが行われました。

成績は次の通りです。

優勝 高浜
優優勝 三友クラブ
三位 パワーズ
三位 チャレンジ

これは、トップクラスの図書

り入れ市の図書館行政に役立ちたいと、毎年実施している「市民の意見」を参考に、行の車中では、打合わせを兼ねてよりよい図書館サービスについて、活発な話し合いが行われました。

ある学校の先生からは、次のような詳しい内容の報告がありました。「学級担任をしている関係で、昨年は市立図書館から巡回配布されてきた本をもとに学級文庫を充実させたり、読み聞かせの時間を多く持つよう心掛けてきました。

耳を傾け、先生！さし絵はどうなっているの？”次はいつ読むでくれるの？等々矢継ぎ早に所

問が飛交います。それだけ関心が高く、読んで聞かせた本に感動した子や関心を持った子は、以後自分の目でその本を繰返して読んでいます。

廊下などで会うと小脇に本を抱えていたり、職員室に来て「図書室を開けてください」と言うてきます。

少しは本の好きな子になってくれたかなと思いつつ、読書指導と市立図書館との連携協力の大切さが痛感しました」

100

1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 2679, 2680, 26



▲市内最高齢者の総社二丁目8番23号、石崎さくさんに県知事・市長から褒状と記念品が贈られました。石崎さんは明治18年1月7日生まれの103歳。9月9日石崎さん宅に高橋土浦地方福祉事務所長と常盤桂吉市助役から伝達され「身体に気をつけてこれからも長生きしてください」との言葉に「はい、はい」とうなずいていました。



▲理科作品展 発明工夫展開かる
9月26・27日の両日、市立図書館で理科作品展並びに発明工夫展が開かれ、市内全小中学校から生徒の作品約二百点が展示されました。すぐ取り出せる本箱、便利な傘立て、等々アイデア作品がずらり。訪れた人たちは立派な作品に感心していました。

まの できごと

●柿が色づく6P●

▼金丸・鈴の宮へスズメの大軍がやって来た!

今年の夏の初めから、鈴の宮の大イチョウに約一万羽のスズメが住みついています。夕暮れになると、周囲いっばいに鳴き声が響き、空はスズメの大軍で彩られます。朝は4時ごろからピークパーチク。近所の人々は皆早起きになってしまったそうです。



▲梨の品評会で県園芸協会会長賞に鈴木重幸さん
昭和62年度梨果実品評会が市役所ロビーで行われ、特別賞として県園芸協会会長賞に三村の鈴木重幸さんが、市長賞に大砂の岡野元一さん、市議会議員賞に幕内善兵衛さん、石岡地区農業改良普及所長賞に府中の塚本豊広さん、石岡市農業協同組合長賞に大砂の岡野貞子さん、三村農業協同組合長賞に大砂の岡野孝雄さん、市梨組合連合会長賞に半の木の櫻村善助さん、市経済部長賞に鈴木信雄さんがそれぞれ受賞しました。



▶裏庭にヘビウリ発見!

国府二丁目に住む俳人・石井双刀さんの裏庭の棚に、2メートルはあろうかというヘビウリが色づいています。ニガウリの仲間であるこのヘビウリ、東南アジアが原産で曲りくねった実の表面には緑のシマがあってヘビそっくりです。



▲秋のサイクリング、約60名が八郷フラワーパークへ(10月4日)

色づく里の秋を楽しもうと、市教育委員会主催のサイクリング大会が行われました。今回はボーイスカウトも特別参加、目的地のフラワーパークでは、野立てやモデル撮影会など盛りだくさんの催し物があり、秋の一日を大いに満喫しました。



▼俳句の部

高浜 須田 たま
炎えるほどきみしくなりぬ曼珠沙華
句読点うちたい個所で秋の蟬
大谷津 海老沢ふみ
厨まで月を四角に呼び入れる
東光台二 塚本 光子
新涼の膝うすくなる平家琵琶
かなかなや女名前で棲み古るす
東光台二 内田千代子

文芸いしおか

破蓮の葉うら白々風の道
若宮二 片岡 礼子
若松一 広瀬 志津
稲は穂に朝の滑車のうごき出す
▼俳諧の部 題「月」「正」
若宮一 石毛 芦影
咲いて待ってる宵待草に
雲が邪魔する月の影
国府六 常山 真砂
月が優しくついて来る
国府六 岩崎 山水

大正生れも祭りとなれば
老を忘れて笛太鼓
竜の口 大久保花峰
無事故記録へ署長の訓示
心正しく聞く署員
総社二 鈴木 虚心
生れついで馬鹿正直で
損をするけど悔はない
国府二 篠原 東陽
当てにならない公約やめて
正せ政治の二枚舌
▼短歌の部 半の木田崎しづえ
幼には幼の思い声あげて
土に画きし車走らす
大谷津 海老澤明子
特急の過ぎてゆくと握りある
児の掌にひとと力がこもる
国府四 太田 尚武
入院が否かを決める胃の検査
受ける子を持つ母落ちつかず
東光台 内田千代子
蒲生野の宴を語る前登志夫
光あふれき息もあふれき
国府四 太田 緑
書庫にありてふと見上げたる
高窓の空よりゆく雲すに秋

ほくろの名物先生

34

●石岡中学校 加藤明先生(28)
もっか独身生活を満喫している加藤先生は、友部町から通勤している好青年。高校時代はテニスで汗を流し、大学に入ってから仲間とバンドを編成、ギターを担当してオフ・コースのコピーバンドとして鳴らしてきて音楽家。



現在、石中サッカー部の顧問として山口先生の後を引き継いで「イレブン」の指導に当たっています。「これまでサッカーなどやった事がなかったのに、顧問を受けてからが大変だったんです。本やビデオのセットを買って勉強しました」と加藤先生。早速、二年三組の教室へ入ると、黒板の上に立派なトロフ

鈴木茂之君は「先生はとても短気なんだよ」といってすぐ怒鳴るんだよ」と険しい表情で話してくれました。森山奈津子さんが「早く結婚して欲しい」と話した途端、女生徒から「そうだ、そうだ」の大喝采。

くらしのガイド

9月の市内交通事故

発生件数 25(237)
死者 0(0)
傷者 38(313)
(内は1月からの累計)

★市役所 ☎3-1111 ★市民会館 ☎2-5187 ★テレホンサービス ☎3-3333

休日・夜間緊急診療

●休日 受付 午前9時～午後3時30分 ●夜間受付 午後7時～10時30分まで

月	日	産婦人科	外科	内科・小児科 歯科 (午前11時30分まで)
10月	25日(日)	富田産婦人科医院 ☎(3)-0311	山王台病院 ☎(6)-3130	
	1日(日)	松葉病院 ☎(3)-2157	齊藤病院 ☎(6)-2131	
	3日(火)	飯田医院 ☎(2)-2268	青木医院 ☎(3)-0221	
11月	8日(日)	松山医院 ☎(6)-3812	府中病院 ☎(2)-2146	
	15日(日)	富田産婦人科医院 ☎(3)-0311	同愛病院 ☎(2)-2261	
	22日(日)	松葉病院 ☎(3)-2157	石岡市医師会病院 ☎(2)-4321	
	23日(月)	富田産婦人科医院 ☎(3)-0311	田中病院 ☎(3)-2288	
	29日(日)	松山医院 ☎(6)-3812	根崎病院 ☎(3)-6611	
				夜間 (内科・小児科) 11月1日・2日・3日 ・7日・8日・14日 ・15日・21日・22日 ・23日・28日・29日
				メディカル センター 杉並2-1 ☎4-1386

納期を忘れないでネ

10月
市県民税(3期)
国民健康保険税(4期)
国民年金保険料

11月
国民健康保険税(5期)
国民年金保険料

おくりやみ (八月届出)

堀米 かね 88 国府五
大和田 藤吉 84 府中四

こんにちは 赤ちゃん

●斉藤佑介くん(二歳九カ月)
大和町



お母さんの斉藤由美子さん(28)は「一番健康が大事なので、病気に注意を払っています。それと、人様には迷惑を掛けたくない人になって欲しいです」

お母さんの声は、お父さんの声に聞こえるように、大合唱。

一人っ子の佑介くんは、色白で、お父さんとお母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、お友達、みんなと、みんなといっしょに、大合唱。

ふるさと散歩道 58

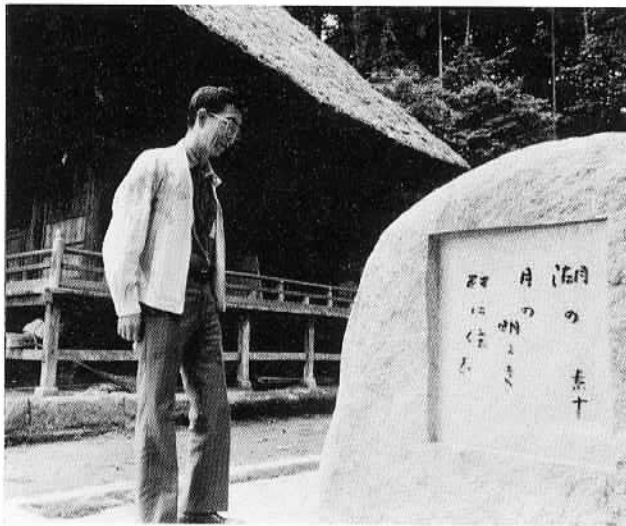
高浜観音堂に立つ素十の句碑

高浜の通りを東に進んで、左へ緩くカーブする辺り。左手の高台に高瀬寺という観音堂が建っています。四十段ほどの階段を登り、後を振り返ると家並みの少し先に霞ヶ浦のきらめく湖面が広がります。

境内の一角に立つ花崗岩の句碑にはこう刻まれていました。

「湖の月の明るき村に住む」

この俳句を詠んだ高野素十は、ホトトギス同人で、高浜虚子の一番弟子だった人です。昭和三十一年から五十二年まで「芦」という雑誌を刊行し、俳壇に一時を築きました。藤代町出身



▲高浜の東方の高台にある高瀬寺境台。高野素十の句碑の立つ場所からは、鏡のような霞ヶ浦の湖面が望めます。

の素十は、石岡の親しい俳人である石井陽雄さん66のころへしばしば訪ねました。

「この句は、昭和二十七年に素十先生が高浜へ遊びに来たときに詠んだものです。先生は写実的な作風で、スケールが大き

い反面、繊細なところもありました。高浜には昔の面影が残っていて、大好きな場所だったようです。農家の生まれなので、何か郷愁のようなものがあつたのかも知れません。誰とでも気さくに話しかけた

先生には何よりも「人間」ということを教わりました。句碑が建つのは昭和五十年十一月。その翌年に素十は八十三歳で亡くなっています。句碑の管理は、地元戸井田さん夫妻がしているそうです。

昭和四十一年には石岡で「牡丹の一花まことに志」という一句も残っています。

高浜入りを一望におさめる絶景の高台。そこに立つ観音堂と自然石の句碑が、周囲に詩的な雰囲気をつけています。

満月の宵、この高台に立って霞ヶ浦を眺めたら、光る湖面と古風な家並み、澄んだ秋の夜空が絵のような世界を作りだすのではないのでしょうか。

善意銀行

善意銀行への暖かいお心、本当にありがとうございます。

★金銭の部

石岡第二高等学校 九一、四三四円

立正佼成会石岡支部 四七、五四五円

外間 規子 四、三〇〇円

匿名 二、七四六円

★物品の部

鈴木 孝司 座布団二、二十五枚

タオル 二十枚

交通事故のご相談

無料でご相談に応じてます

社団法人 日本損害保険協会

水戸自動車保険請求相談センター

1では、交通事故の相談を、専従相談員が親身になって応じて

編集後記

古材を利用して庭先ヘテラスを作ろうと、電動ノコギリ・電動ドリル・電動カンナ・コードリールを買いました。さつそく日曜大工の始まりです。

三寸柱を電動ノコギリで、キーンキーンと気持ちよく切断し

ます。二メートルほどの材木の表面を、電動カンナがシユルシユルと進みます。木ネジの穴を

電動ドリルがうがいます。

電動工具の作業の何と早きことよ。組み立てが三時間もしな

いうちに終わりました。

おや、表面を仕上げるのに電動サンダーが必要だ。白いペンキを塗るのに、電動スプレーも要るな。電動キチ打機なん

てのもあったな。

かくして、庭先に電動テラスが完成したのでした。

健康相談

- 妊婦教室 メディカルセンター
11月2日(月)・9日(月)・16日(月) 午後1時30分～4時
- リハビリテーション メディカルセンター
11月6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金)
午後1時30分～午後3時30分
- 出張健康相談
11月6日(金) 石岡商工会議所
11月19日(木) 東地区公民館
11月26日(木) 府中地区公民館
※各会場とも午前10時～午後3時
- 市民健康相談 福祉会館(国府5-7-1)
毎週月・水・金曜日 午前10時～午後3時
- 健康教室 東地区公民館
11月25日(水) 午後1時30分～3時30分

赤ちゃん健診

- 3カ月児健診 メディカルセンター・病気の時は翌月に
11月4日 午後1時～2時 対象 昭和62年7月出生児
- 10カ月児健診 メディカルセンター
11月11日 午後1時～2時 対象 昭和61年12月出生児
- 1歳6カ月児健診 メディカルセンター
11月18日 午後1時～2時 対象 昭和61年5月出生児
- へお子さんの歯ブラシを「持参ください」
3歳児健診 石岡保健所
11月24日 午後1時～2時 対象 昭和59年10月出生児
- へお子さんの歯ブラシを「持参ください」

各種相談

- 国民年金・厚生年金相談 石岡商工会議所
11月6日(金) 午前10時～午後2時30分
- 義肢・車いす装具等巡回修理 土浦市社会福祉センター
11月18日(水) 午前9時30分～12時
- 高齢者無料職業紹介所 福祉会館(国府5-7-1)
毎週月曜・土曜日
- 出張相談
11月4日 府中地区公民館 午前9時～午後3時
11月18日 東地区公民館 午後3時
- 精神衛生相談 石岡保健所 ☎4-11335
11月13日・27日 専門の精神科医師 午前10時～11時
- 精神障害者デイケア事業 石岡保健所 ☎4-11335
11月4日・11日・18日・25日 午前9時30分～
- 対象Ⅱ在宅精神障害者で年齢50歳未満の方で通院治療を受けている方。詳しくは石岡保健所へ連絡ください。
- 消費生活相談 毎週月曜・土曜 市役所市民活動係

困り事

- 市民相談 毎週月曜・土曜 市役所市民相談室
- 困りごと相談 福祉会館 ☎2-2940
11月6日(金)・20日(金) 午前10時～午後3時
- 行政・登記相談
11月12日(木) 午前10時～午後3時 市役所会議室
- 法律相談 市民相談室(予約は電話で・内線263)
11月10日(火) 長谷川恒弘弁護士 午後1時
- 11月24日(火) 野武興一弁護士 午後4時
- 交通事故相談 福祉会館 ☎2-2940
11月20日(金) 午前10時～午後3時